

# 社協 鶺二だより

(川崎・三ツ池・各務原)

第68号

令和3年3月1日発行

発行 鶺沼第二地区社会福祉協議会

編集 広報委員会

## コロナ禍の社協の活動として

鶺二地区社協 会長 井戸田 直人



鶺二だより発行に際して一言ご挨拶させていただきます。

昨年は新型コロナウイルス感染症拡大により、日常生活を送る上でも多くの制限を余儀なくされました。鶺二社協においても、例年行われてきた多くのイベントを中止することとなりましたが、これからの地域との結びつきを模索するために新しい試みをして参りました。

た。9月のスマホ教室、10月の健康教室、11月の脳トレ教室など少人数で行える講座を開催いたしました。非常に評判が良く、1月以降も引き続き予定していましたが、感染拡大により残念ながら中止することとなりました。取り組みの一端をご紹介します。できればと思っております。また、本年も、コロナの状況を見ながらの活動にはなるかと思いますが、皆様のご協力の中で進めて参りますので、よろしく願います。



## LINEでつながろう「スマホ教室」

「コロナ禍でも何かできることはないか？」と会議を重ね、集まらなくても繋がる方法として、まずは役員同士がLINEで繋がるよう、ソフトバンクから講師を招きスマートフォン講座を開催しました。(9月13日(日))

講座終了後、自然と役員グループLINEがで

きあがり、今では会議やイベント等の連絡をLINEで行っています。案内文書を画面上で確認したり、投票機能を使ったりして、便利さを実感しています。将来的には、社協関連団体との情報共有や、オンラインでのボランティアハウスの活動に生かせたらと思います。



### 健康づくりは 日ごろからの運動を

コロナ禍で顔を合わせる機会が減っている高齢者に、外でのウォーキングを推奨するなど健康に関する事業を企画してはどうか？との意見があり、少人数講座としてボランティアハウス代表者を対象とした健康教室を開催しました。(10月19日(日))

スポーツインストラクターの林都先生をお招きし、簡単にできる体操や正しいフォームでの歩き方について楽しく学んだ後、近くの公園で実践練習も行いました。過去においては、室内の行事が多かったため、外で交流すること自体、とても新鮮でした。

「ボランティアハウスでもぜひご指導いただきたい！」との声も聞かれ、健康を意識した取組みの広がりが期待できます。今後、ウォーキングが地域交流のきっかけの一つとなればよいと思います。



### ボケてたまるか「脳トレ」ではどうと

11月15日(日)に、講師に「VHカフェ三ツ池」の代表である富永正信氏を招いて、社協理事と各ボランティアハウス運営役員を対象に「脳トレ」研修を実施しました。社会問題として、2025年には65歳以上の5人に1人が認知症を患うと言われています。認知症予防には、日ごろから脳細胞に刺激を与え、多くの神経・器官・臓器を活性化させ、生き生きとした行動・反応を維持・増進するための「脳トレ」を実践する必要があります。というお話でした。「脳トレ」問題のつくりかた、出し方については、過去の経験や知識を生かして考えることができ、結果として「なるほど」「そうだったのか」といわせるような問題を提供できるとよいということをお話していただきました。



# ボランティアハウスにおじゃましました

鶴二地区には7つのボランティアハウスがあり、定期的にふれあい・語らい・いこいの場を提供しています。

しかし、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大により、どのボランティアハウスも思うように開催できませんでした。そんな中、消毒・換気・席の間・マスクの着用など感染防止の様々な工夫をしながら活動さ  
れている様子を見させていただきました。



## 新たな活動として

コロナ禍の中、家庭での巣ごもりを余儀なくされている高齢者が気になるということと、カフェ三ツ池・カフェ近隣・フレアーレかわさきの3つのボランティアハウスでは、スタッフが参加者宅の訪問を行いました。訪問先では、普段の暮らしの様子について気楽に談笑するなどして、和やかなひと時を過ごすことができました。



▲カフェ近隣



▲フレアーレかわさき



▲20日の会



▲スタッフによる訪問

**年賀状をお届けしました**

今年も鶴二地区社協地域にお住まいの独居高齢者123名に、鶴二小の四年生に作成していただいた年賀状をお届けしました。小学生のみなさん、心のこもった年賀状ありがとうございました。地域での交流が一層深まることを願っています。



▲櫻井 利章 様



▲植村 英志 様

心よりお祝い申し上げます

12月2日総合福祉会館にて、社会福祉活動に尽力された方を表彰する第54回各務原市社会福祉大会が行われました。今年度は、コロナウイルス感染症拡大防止の観点から代表授与式となりました。

鶴二地区関連では、次の方々が表彰されました。

◇ボランティア功労近隣ケアグループ

○パークホームズ近隣ケア様

○各務原2丁目南自治会様

◇民生委員児童委員功労

植村 英志 様

(鶴沼西部地区民生委員児童委員協議会)

◇地域福祉感謝

櫻井 利章 様

(鶴沼第二地区社会福祉協議会)

# 住民お互いさま活動



今年度は「コロナ禍で困っているお年寄りの方を応援しよう」というスローガンで取り組んでいます。コロナの影響で受け付けを一時中止する場面もありましたが、昨年を上回る42件(12月末現在)の依頼があり、多くのおたすけ隊員に協力していただきました。主な依頼内容は、簡単な草引き、ゴミ出し、不燃物の搬出、電球の交換などでした。

## 鶴沼第二地区社協の 住民お互いさま活動

困っていることは  
ございませんか？

が始まりました。

- ・利用料は原則無料ですが、実費がかかる場合はご負担いただきます。
- ・状況によっては、お引き受けできない場合がございます。ご了承ください。



### ■おたすけできる例

 ゴミ出し	 郵便物の投函	 網戸の取り外し	 電球の交換
 将棋・囲碁のお相手	 ペットのお世話	 買い物	 お話し相手
 簡単な草抜き	 花の水やり	 見守り	 片付けの手伝い
 パソコン・スマホの操作	 エアコンフィルター掃除	 果物の収穫	 ボタン付け

保存版

見える所に貼ってください。

### ■お問合わせ・お申し込み (令和2年度)

- |              |                         |
|--------------|-------------------------|
| 各務原市社会福祉協議会  | 田中新樹 ☎383-7610          |
| 川崎町担当: 小澤次郎  | ☎383-0397・090-6592-7156 |
| 三ツ池町担当: 櫻井利章 | ☎385-0735・090-1288-9532 |
| 各務原町担当: 伊藤 浩 | ☎370-0813・080-3070-7779 |

## おたすけ隊員

### 募集中

### ■住民お互いさま活動とは

生活の中で起こる「ちょっとした困りごと」を地域の中で、気軽に相談し互いに助け合うことを目的とする、鶴沼第二地区社会福祉協議会の活動です。

▼樹木剪定の様子

